

地方創生臨時交付金を活用した事業の効果の検証について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和 6 年度に完了した 57 事業（47.1 億円）の取組について効果の検証を行うもの。

1 臨時交付金の概要

①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、コロナ交付金という。）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう措置された交付金

②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（以下、物価高騰交付金という。）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援し、地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう措置された交付金

2 今年度の検証対象事業

コロナ交付金：令和 5 年度実施計画に記載している事業のうち、令和 6 年度へ繰越し、完了した事業（2 事業 6.4 億円）

物価高騰交付金：令和 5 年度及び 6 年度実施計画に記載している事業のうち、令和 6 年度完了事業（55 事業 40.7 億円）

3 主な事業の効果

○コロナ交付金（2 事業 6.4 億円）

＜主な事業＞

◇稼げる地域観光支援事業 5.4 億円（令和 5 年度実施計画 No. 26）

【概要】

アフターコロナにおける観光需要を効果的に観光地へ取り込み、地域の「稼ぐ力」を向上させるため、インバウンド向けコンテンツの新たな造成等を支援する。

【効果】

造成したコンテンツには、募集定員を大幅に超えたものや多数のメディアに取り上げられたものがあり、外国人の延べ宿泊者数の増加に寄与した。（県内宿泊施設に宿泊した外国人の延べ宿泊者数 計画：199,100 人 → 実施後：237,960 人）

○物価高騰交付金（55 事業 40.7 億円）**<主な事業>**

◇新たなご当地グルメの創出及び県内外へのプロモーションを契機とした飲食事業者緊急支援事業 1.9 億円（令和 6 年度実施計画 No. 11）

【概要】

地元自治体が一体となって開催する「シン・いばらきメシ総選挙 2024」を通し、物価高騰の影響を強く受けている飲食店事業者の新たな取組（新たなご当地グルメ開発とプロモーション）を支援し、県内誘客に繋げることにより、観光産業の底上げを図る。

【効果】

3 日間で延べ 64,000 人の来場を達成し、食の観光資源の創出及び食を通じた地域振興を図ることができた。また、著名人を活用した試食会（メディア 12 社参加）や再集結グルメフェス（2 会場で延べ 26,000 人動員）などの県内外へのプロモーションにより、シン・いばらきメシの認知拡大を図ることで、物価高騰の影響を強く受けている飲食店事業者を含む観光産業を支援することができた。

◇水郡線 90 周年を契機とした水郡線沿線地域活性化支援事業 0.2 億円（令和 6 年度実施計画 No. 12）

【概要】

物価高騰の影響を受けた水郡線沿線の観光事業者・交通事業者を支援するため、水郡線全線開通 90 周年を機に、沿線地域の新たな魅力を発信する企画への補助を実施する。

【効果】

水郡線沿線の観光事業者・交通事業者に対し補助金を支給することで、沿線地域の新たな魅力を発信する企画が効果的に実施され、また、水郡線全線開通 90 周年記念事業として開催することにより、その他関連イベントを含め全体で約 42,000 人が参加し、水郡線沿線地域の活性化に繋げることができた。